

平成21年11月11日

各位

上場会社名 オリコン
 代表者 代表取締役社長 小池 恒
 (コード番号 4800)
 問合せ先責任者 執行役員企業広報部長 日高輝明
 (TEL 03-3405-5252)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,700	600	525	350	2,238.17
今回発表予想(B)	5,830	720	700	520	3,324.38
増減額(B-A)	130	120	175	170	
増減率(%)	2.3	20.0	33.3	48.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	5,019	511	376	332	2,124.20

修正の理由

第2四半期連結累計期間(上期)においては、モバイル事業、データサービス事業が好調だったことを主な要因として、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益がいずれも期初の予想値を上回りました。

第3四半期および第4四半期(下期)においては、WEBメディア事業(ORICON STYLE 広告)のうち、バナー広告の販売は来訪者数の増加に伴って上期同様、堅調に推移する見通しであり、タイアップ型広告についてもPRを含めた広告商品として提案している案件が受注に結びつき始めるなど、着実に回復してきていることから、WEBメディア事業全体の下期の売上高は前年同期を上回り、成長路線に戻る見込みです。また、モバイル事業、特に着うたフル配信サービスが、上期同様、収益のけん引役となる見通しであり、グループ全体の管理系費用にも大きな変動がない見込みです。

以上のことから、通期の売上高、営業利益、経常利益の予想値については、上記の通りに増額修正いたします。

また、通期の当期純利益の予想値については、営業利益、経常利益の増額分以上に増加する見込みです。その主な理由は、次の通りです

・本日(平成21年11月11日)付で別途開示しました「子会社株式の譲受に関するお知らせ」の記載の通り、当社の連結子会社である株式会社oricon MEの株式を大和SMBCキャピタル株式会社より買い戻すことにしました。この買い戻し(譲受)によって、当社の連結業績において、のれんが312百万円発生し、年次で15百万円(今期においては7.5百万円)の償却が必要となりますが、当社の持ち株比率が上がったことによって少数株主利益の額が減少し、その減少額がのれん償却の額を上回る見通しであることから、当期純利益の増加要因となる見込みです。現時点において、今期の通期の当期純利益を21百万円増加させる見込みです。

・今後、各事業が好調に推移する見通しであり、税効果会計適用による税金費用の減少が見込まれます。

(ご参考)第2四半期連結累計期間の期初予想値と実績値について(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
期初予想値(C)	2,700	230	180	100
実績値(D)	2,782	297	297	187
増減額(D-C)	82	67	117	87

(注)上記の業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上